

TOPICS
4トピックス…④
担い手農業者の今後の
経営方針

日本政策金融公庫農林水産事業では、平成27年1月に実施した「平成26年下半期農業景況調査」において、融資先である担い手農業者（7,966経営）の今後の経営方針について調査し、その結果を公表した。回答者全体の25.7%が「現状維持」を選択したのに対し、「生産規模拡大」が46.2%、「新技術の導入」が36.1%、「新品種の導入」が30.5%と、多くの担い手農業者が今後の経営展開に前向きな姿勢であることが明らかになった。このような状況の中、酪農では「現状維持」意向の経営者の占める割合が高かった。

「生産規模拡大」意向が最多、とくに畑作と都府県稲作で多い

今後の経営方針について検討していることの中では、「生産規模の拡大」と回答した農業者の割合がもっとも多かったが、これを作目別にみると、畑作（56.0%）、稲作（都府県54.6%）といった耕種農業での回答率が半数を超えた（表1）。

とくに稲作では、今後の経営が引き続き低迷する見通し（北海道：▲67.1、都府県：▲61.0）であるにもかかわらず、農業者の生産規模拡大意向が強いことが注目される。なお、稲作に比較して、今後の経営見通しが良好な酪農（北海道：2.9、都府県：▲16.1）の生産規模拡大意向は、北海道が42.6%、都府県が40.5%であった（表2）。

「新技術の導入」は畑作、養豚、酪農で多い

「新技術の導入」については、ICT技術（情報処理及び情報通信に関連する諸分野における技術・産業・設備・サービスなどの総称）を活用した機械の利用が今後見込まれる畑作（48.8%）、飼料給与方法の工夫などが見込まれる養豚（46.4%）、性別判別技術が普及しつつある酪農（北海道43.3%、都府県40.5%）で高い結果となった。

とくに、2年連続で経営改善がみられた養豚は、平成27年度の見通しも良好であり、「新技術の導入」がさらに進むことが見込まれる。

「販路開拓」は採卵鶏が積極的、酪農が消極的

「販路開拓」、とくに農産物の消費者への直販については、採卵鶏（48.6%）、果樹（43.3%）、稲作（都府県38.1%）が積極的である。採卵鶏以外の畜産が総じて「消費者への直接販売」に消極的なのは、生産物を自ら処理・加工することの困難性によるものと考えられる。消費者への直販による「販路開拓」意向は、北海道酪農が3.8%、都府県酪農が7.6%でとくに消極的な結果であった。

「現状維持」は、とくに酪農で多い

多くの農業者が今後の経営展開について前向きに検討している中で、「現状維持」と回答した農業者の割合は、酪農（北海道45.8%、都府県40.5%）でとくに高かった。酪農では、経営実績が前年を下回った経営の割合が、上回った経営の割合より多かった年が続いており（平成25年から26年の経営実績DIがマイナス）、そのことが「現状維持」の回答率を引き上げているものと推察される。

表1 今後の経営方針について検討していること(3つ以内の選択)

単位:戸、%

| | 回答者数 | 生産規模 拡大 | 新技術の 導入 | 新品種の 導入 | 作目の追加・ 転換 | 栽培・飼養法 による 農産物の 差別化 |
|-------|-------|------------|------------|------------|--------------|------------------------------|
| 北海道稲作 | 984 | 46.0 | 37.0 | 36.9 | 32.8 | 10.4 |
| 都府県稲作 | 2,267 | 54.6 | 31.9 | 29.9 | 31.1 | 15.0 |
| 畑作 | 678 | 56.0 | 48.8 | 40.4 | 33.2 | 11.1 |
| 施設野菜 | 566 | 38.2 | 41.0 | 33.4 | 19.4 | 16.1 |
| 果樹 | 383 | 25.3 | 26.6 | 46.2 | 21.9 | 18.0 |
| 肉用牛 | 405 | 47.2 | 37.8 | 11.1 | 13.6 | 26.7 |
| 養豚 | 237 | 47.7 | 46.4 | 21.5 | 6.8 | 18.6 |
| 採卵鶏 | 109 | 32.1 | 29.4 | 3.7 | 1.8 | 22.9 |
| 北海道酪農 | 312 | 42.6 | 43.3 | 9.9 | 7.1 | 11.9 |
| 都府県酪農 | 316 | 40.5 | 40.5 | 8.9 | 14.6 | 13.9 |

表2 今後の経営見通しDI

| | 平成25年 実績 | 平成26年 実績 | 平成27年 見通し |
|-------|-------------|-------------|--------------|
| 北海道稲作 | ▲4.2 | ▲67.2 | ▲67.1 |
| 都府県稲作 | ▲10.2 | ▲71.0 | ▲61.0 |
| 畑作 | ▲27.6 | ▲5.3 | ▲19.8 |
| 施設野菜 | 15.6 | ▲8.4 | ▲1.1 |
| 果樹 | 6.3 | ▲12.7 | ▲1.1 |
| 肉用牛 | 20.5 | ▲1.2 | ▲12.3 |
| 養豚 | 43.6 | 67.5 | 10.3 |
| 採卵鶏 | 43.9 | 28.6 | ▲30.4 |
| 北海道酪農 | ▲9.4 | ▲4.1 | 2.9 |
| 都府県酪農 | ▲23.8 | ▲30.9 | ▲16.1 |
| 北海道酪農 | 312 | 3.8 | 1.9 |
| 都府県酪農 | 316 | 7.6 | 0.6 |

注) DIは、前年比べて経営が「良くなる(良くなった)」の回答率から「悪くなる(悪くなった)」の回答率を差し引いたもの。

| | 回答者数 | 農産物の 加工 | 販路開拓 (消費者への 直販) | 販路開拓 (食品事 業者) | 輸出促進 | 現状維持 |
|-------|-------|------------|-----------------------|---------------------|------|------|
| 北海道稲作 | 984 | 5.6 | 25.5 | 8.4 | 2.7 | 29.8 |
| 都府県稲作 | 2,267 | 10.5 | 38.1 | 9.0 | 3.3 | 19.3 |
| 畑作 | 678 | 6.6 | 11.4 | 8.8 | 1.0 | 24.9 |
| 施設野菜 | 566 | 10.2 | 23.5 | 10.6 | 5.3 | 27.6 |
| 果樹 | 383 | 17.2 | 43.3 | 13.8 | 5.0 | 24.3 |
| 肉用牛 | 405 | 4.0 | 14.1 | 4.7 | 8.6 | 29.6 |
| 養豚 | 237 | 8.9 | 14.8 | 9.3 | 1.7 | 27.4 |
| 採卵鶏 | 109 | 13.8 | 48.6 | 26.6 | 1.8 | 25.7 |
| 北海道酪農 | 312 | 2.6 | 3.8 | 1.0 | 1.9 | 45.8 |
| 都府県酪農 | 316 | 7.6 | 7.6 | 3.2 | 0.6 | 40.5 |

注) 本表は主要な選択肢のみを掲載している。